

根津啓氏インタビュー

質問

①両大臣賞受賞の率直な感想は？それぞれの意義が違いますが・・・

→大臣賞のダブル受賞ということで、たいへん光栄に思います。

また今後の製作活動においても、より一層の励みになります。

②今回の作刀の際、もっとも意図したこと、工夫したこと、苦心したことなどお聞かせください。

→もっとも意識したのは地刃の明るさです。

そのベースの上で、沸厚く自然なリズム感のある刃文になるように心がけました。

今までの経験上、それらを求めて攻め過ぎると刃切れ等のトラブルが生じて作品としてまとまらないことがほとんどで、それゆえ色々な面でパワーセーブすることが多かったです。

しかし、今回は別な工夫をすることで力を出し切って作品としてまとめることが出来ました。

③今後、製作してみたい刀(作風なども含め)、目指したい刀などありましたらお聞かせください。

→今、自分の作風が大きく変化しようとしているのを感じていますが、そんな中で左文字の作風に惹かれています。

現在、江雪左文字を念頭に置いた作品を製作しようと思っています。

④現在、信条にしていることなどお聞かせください。

→動物や植物だけでなく、鉱物にも生命があります。

そしてその、鐵(てつ)という鉱物の生命力というのが日本刀の美しさの源泉にあると感じています。

私が刀剣を鍛える上で信条としているのは、鐵の生命力を最大限に引き出すことであり、そのために鐵と繋がり対話する様にして、その時にこの世に生まれ出たがっている刀剣を生み出す刀鍛冶でありたいと思っています。